

## 「地下熱等利用システム（緑の分権改革推進事業）」実証調査公募要領

### 1 事業概要

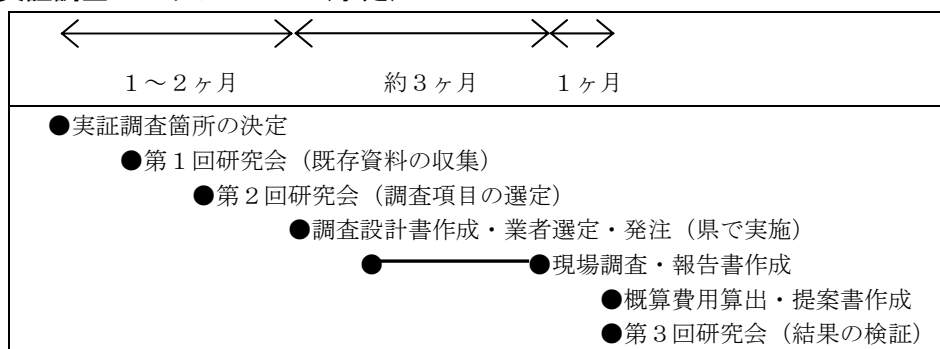
#### (1) 長野県地下熱等利用システム研究会（仮称）

地下熱利用に関する専門家等で構成し、既存資料をもとにシステム導入に向けて必要な調査項目等を洗い出し、実証調査を進める中で、システムの導入に向けたアドバイス等を行います。

#### (2) 実証調査

システムの導入に不可欠な事前調査をこの実証調査と位置付け、必要なデータ（地質、地下水等に関するデータ等）を収集します。

### 2 実証調査のスケジュール（予定）



### 3 公募条件等

- (1) 調査対象は、市町村の施設又は病院、社会福祉施設等の公共的な施設とします。
- (2) 近い将来（概ね今後5年程度以内）に地下熱等利用システムを実際に導入することを見据えた検討を行うことのできる自治体・団体等に限りします。
- (3) 応募のあった自治体・団体等に対し、必要に応じてヒアリングや現場調査を行い、2～3箇所を選定します。

### 4 留意事項

この事業は、実証調査によるデータの取得及びシステム導入の検討を行うものであり、この事業によって施設設備等の資産を設置することはできません。

### 5 実施期間

平成22年度の単年度事業となります。

## 6 応募方法

実証調査を希望される場合は、以下の書類等により、平成22年5月18日（火）までに長野県環境部環境政策課まで郵送にてお申し込みください。

※公募書類提出先

〒380-8570（住所記載不要）

長野県環境部環境政策課企画経理係 あて

○地下熱等利用システム実証調査申込書

○添付書類等（提出部数は1部）

【必ず提出していただく書類等】

（⑤及び⑥は当該システムを既設建物に導入する場合に限りです。また、提出できない書類等があればご相談ください）

①当該システムを導入する目的（考え方）等を記載した書類（様式任意）

②当該システムの導入を検討する施設の概要を示す書類

→建物であれば、平面図、建築面積、延床面積、構造が分かる書類

→駐車場あれば、平面図、駐車場面積を示す書類

※地下水等を汲み上げる井戸がある場合は、平面図に記載してください。

③既設の井戸（温泉井戸を含む）がある場合にあっては、その井戸に関するデータ等

⇒井戸の深さ、井戸の径、地下水等汲上可能量、地下水水質検査結果、本数など

④温泉資源を利用する場合にあっては、その温泉に関するデータ等

⇒湧出温度、湧出量、温泉の成分分析表など

⑤既設の機械設備等の概要を記載した書類

⇒機械名、使用燃料、能力、用途、台数、空調設備配管図など

⑥1年間の使用エネルギー実績表（できれば1ヶ月ごとに集計したもの）

（作成例）

	単位	主な用途	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A重油	kℓ														
灯油	kℓ														
都市ガス	m <sup>3</sup>														
LPG	t														
電気	kWh														

【所有していれば提出していただく書類等】

- ・ボーリング調査結果表（土質柱状断面図等）
- ・地下水の水位変化を表す書類

## 7 その他

システムに係る資料等については、県ホームページ

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/kansei/chikanetsu/chikanetsu.htm>

に掲載してありますので、ご参照ください（平成22年1月29日（金）に長野市で開催されました「地下熱等利用システム普及促進セミナー」の資料等がご覧になれます）。

地下熱等利用システム実証調査申込書

平成22年 月 日

長野県環境部環境政策課長 様

申込者

住 所 \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

担当者所属・氏名 \_\_\_\_\_

「緑の分権改革」推進事業（地下熱等利用システム）の実証調査を、下記の関係書類等を添付して申し込みます。（提出書類名等を記載してください）

記